

濟生会だより

～まえばし～

社会福祉法人 群馬県済生会前橋病院
〒371-0821 群馬県前橋市上新田町564-1
TEL.027-252-6011 FAX.027-253-0390
http://www.maebashi.saiseikai.or.jp

No.65
2017.7



前橋市立東小学校 3年2組 林 桃子さん

毎年、病院祭「ふれあいデー」で地元小学校3校を対象にした絵画コンテストを開催、展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。昨年度病院賞に輝いた絵をご紹介します。



理念
愛と希望

使命
濟生「国民の生を救うこと」の心のもとに、医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地元の皆様に必要とされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力・信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院

患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関する個人の情報を保護される権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつづしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。

濟生会となでしこの花

管理局長 長尾景茂

濟生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44（1911）年に設立されました。以後106年間にわたり、「濟生会」の3文字に表された三つの目標を掲げ、医療、保健、福祉活動を行っています。

- ・生活困窮者を**濟**(すく)う
- ・医療で地域の**生**(いのち)を守る
- ・医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

そのため、濟生会では、生活保護受給者を始め、経済的に困っている人の医療費を無料にしたり、減額したりする「無料低額診療事業」を積極的に行っています。

また、無料低額診療事業の対象とならない人を支援するため「なでしこプラン」（生活困窮者支援事業）も行政や支援団体と連携しながら実施しています。これは、ホームレスや家庭内暴力（DV）被害者、障害者、高齢者、刑務所出所者、外国人等の生活困窮者全般を対象として、訪問診療、健康診断、健康相談、予防接種等を無料で行う事業です。事業名の「なでしこ」は、濟生会初代総裁の伏見宮貞愛

親王殿下が、創設当時詠まれた、なでしこの歌「露にふす 末野の小草 いかにと あさたかか なる わがころかな」にちなんで、濟生会の紋章に由来しています。この歌は、「野の果てで、露に打たれてしおれるなでしこのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかかってしかたがない」というお気持ちを表されたもので、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、「なでしこの花に露をあしらったもの」を濟生会の紋章としています。

濟生会は、医療に恵まれない人々に手を差し伸べるという創立の精神に沿って、今後とも無料低額診療事業、なでしこプラン事業を始め、地域の方々が安心して生活できるように医療、保健、福祉を連携させた、きめ細かなサービスを提供してまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



濟生会の紋章

露にふす
末野の小草
いかにと
あさたかか
なる
わがころかな



シリーズ
部門紹介

リハビリテーションセンター



リハビリテーションセンター長
(兼)リハビリテーション科代表部長
白倉賢二

当院リハビリテーションセンターは全ての診療科の疾患に対応しており、脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がんその他の内科疾患に続発する*廃用症候群等を対象としております。

特に当院整形外科は群馬県の手外科中核病院であり、県内の多くの病院から手の障害・外傷患者さんの紹介があります。手は高度な巧緻性を有し、手の機能障害は仕事や日常生活に大きな支障を来すため、手の治療には高度な専門性が要求されます。当院は手外科患者さんのリハ経験が豊富な療法士を配置しております。

脳卒中（脳血管疾患）、骨折や腰痛（運動器疾患）のリハビリテーションは一般に広く認知されていますが、最近では内部障害のリハビリテーションとして呼吸器や循環器疾患のリハビリテーションが盛んに行われております。

呼吸器リハビリテーションは主に胸部・腹部の手術前後、肺炎後やHCU・人工呼吸器からの離脱などに大きな成果を上げております。心筋梗塞、心不全、心臓手術や、カテーテル治療の術後における心大血管疾患リハビリテーションもその有用

性が証明されており、これら多様化する疾患に対し、理学療法士・作業療法士が日々の治療に取り組んでいます。

従来は安静が必要とされた関節痛や肝臓疾患、腎臓疾患、血液疾患に対してもそれぞれに適した運動療法があります。入院患者さんにおいては、手術後や肺炎後の活動制限が原因となる廃用症候群の予防が重要です。廃用症候群に見られる最も重要重篤な症状は嚥下障害です。嚥下障害は誤嚥を来し、誤嚥によって引き起こされる誤嚥性肺炎は今や本邦の死因で脳血管疾患を追い抜いて第3位にランクされております。

当院では言語障害、嚥下障害に対応する言語聴覚士も配置しております。嚥下障害の評価には従来の嚥下造影の他に嚥下内視鏡による評価も取り入れております。

がんのリハビリテーションは、白血病を含むがんの特殊性に配慮したもので、多くの患者さんのQOLの向上に欠かせないものとなっております。当センターでは全ての患者さんに適したリハビリテーション医療を行い、廃用症候群の発症を軽減するように努めて、その他すべての領域のリハ医療の要望にお応えします。



* 廃用症候群…長期の安静状態が続くことによって起こる、さまざまな心身の機能低下のこと

シリーズ
病気のお話

『美味も喉三寸。誤嚥性肺炎に対する嚥下内視鏡(VE)という検査』



リハビリテーションセンター
認定言語聴覚士
(摂食嚥下障害領域)

阿部直哉

ことわざでは

「美味も喉三寸」ということわざがあります。「食べ物が美味しいと感じるのは喉を通り過ぎる一瞬である事から、楽しいと思う事は一瞬しか続かない」という意味だそうです。

楽しい食事の時間は一瞬で過ぎ去ってしまうものです。まさに、その「食事」と「喉」の「一瞬」の動きを評価する検査が、『嚥下内視鏡:VE』です。

たかが肺炎、されど肺炎

近年、当院でも肺炎に罹患される患者さんが増えています。怖い話になりますが、日本の死因第3位は「肺炎」です。

「肺炎」の原因は様々ありますが、近年多いのが「誤嚥性肺炎」です。高齢化が進むなか様々な病気にかかり体力、筋力が衰えていくと飲み込む力さえ低下する場合があります。これが摂食嚥下障害と言われる症状です。摂食嚥下障害が進行すると、「誤嚥」という食べ物などが肺に入ってしまう症状が見られます。肺は酸素の取り込みなど

を行う重要な場所ですが、異物である食べ物が入ると炎症を起こします。炎症を起こすことで体力は消耗します。体力を消耗するので、摂食嚥下障害が進行し、水分や食物を摂取しても誤嚥し、さらに炎症を引き起こすといった負のスパイラルに陥る状況になります。これが「誤嚥性肺炎」という高齢化社会において目立ち始めた「肺炎」です。

検査方法として

当院で摂食嚥下障害に対する主な評価、治療(リハビリテーション)を実施しているのがリハビリテーションセンターの医師及び言語聴覚士です。我々が現在実施している飲み込みの検査に、『嚥下内視鏡:VE』という検査があります。通常よりもさらに細い内視鏡を鼻から入れて、喉の状況を確認し、内視鏡を挿入したまま飲み込みをして、食べ物や飲み物が肺に入り込まないかを確かめる検査です。この検査の一番の利点は、小型のため持ち運びが可能であり、入院患者さんの病室に伺い検査ができることです。また、検査時間も約10~15分程度の短時間で済みます。その他、当院では嚥下造影検査(VF)というバリウムを使用した検査や、口腔内圧を測定する機器も取りそろえ、多角的に検査を実施しています。これらの検査を実施して、摂食嚥下機能に関する改善策をスタッフ間で検討し「誤嚥性肺炎」の予防に努めています。



嚥下内視鏡(VE)検査

鈴木看護部長が県総合表彰

長年にわたり、県政や地方自治、環境などの分野で公共福祉のため献身的に尽力した人（または団体）に贈られる群馬県総合表彰において、当院の鈴木伸代看護部長が「保健」部門で受賞しました。

鈴木看護部長は3年前に看護部長に就任。当院最大部門である看護部を統括しながら、皮膚・排泄ケア認定看護師としても患者会や認定看護師連絡会の委員長として長年携わっております。

また、看護協会での教育担当や認定看護管理者会の委員長を務め、キャリアアップを目指す後輩の指導を通して、より質の高い看護サービスの提供を目指し活動しています。

長年医療現場に携わり、県内のみならず全国

を舞台に看護従事者として活躍してきたことが高く評価され、今回の表彰につながりました。

鈴木看護部長は、「看護職を適職として選びましたが、天職と実感できる日が来ました」と表彰の喜びを述べました。



▶5月15日、群馬会館にて表彰式が行われました

病院機能評価の更新審査に際して

部長（兼）医療機能評価対策室員

須田正美

3月9日・10日の2日間で、病院機能評価の更新審査（3回目）を受審しました。

病院機能評価とは、病院を対象に組織全体の運営管理及び提供される医療について、第三者評価機関である日本医療機能評価機構が、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行う仕組みです。

審査の結果、一定の水準を満たした病院は認定病院となり、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院として評価されます。認定期間は5年間で、更新の際に審査が必要となります。

今回の審査は、前回とは異なる新バージョンとなり、内容に様々な改定がありました。その対策として、準備段階では役割分担した専門部会を構成し、問題点の洗い出しから改善という手法で、試行錯誤を重ねながら、職員一丸となって改善活動に取り組みました。



訪問審査当日は、患者さんを治療する過程の、外来から入院、そして退院まで、安全で快適な療養環境を整備し、質の高い適切なチーム（医師・看護師・関係する医療専門職）医療を提供しているかどうかを厳しくチェックされ、様々な審査場面で建設的なご意見をいただきました。

審査の結果、6月2日付で認定証（認定期間：2017年6月17日～2022年6月16日）が交付されましたが、今回の審査を機会に、当院をご利用いただく患者さんが、安全・安心に医療を受けられるよう、継続的な質改善活動に取り組んでいく所存です。

体の臓器というと、胃とか肺とか内臓を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。お肌=皮膚も大切な臓器で、意外にも体で一番大きな臓器の一つです。

一般的な成人の場合、重さは3kg、面積は畳1枚分にもなります。いくつもの大切な働きをしていますが、一番重要なものは保護作用です。保護作用があることで外からの様々な刺激、細菌やアレルギー物質、紫外線などから体を守ります。また体の水分を適切に保つ役割もあり、砂漠で干からびないのも、海で膨らまないのも皮膚があるおかげです。

このように人間にとって重要な皮膚

皮膚・排泄ケア認定看護師

副師長 清水國代



お肌を守るため奮闘中です！

ですが、老化や治療の影響などによって機能が低下し、とても弱くなってしまふことがあります。またおむつを使っている方では皮膚のふやけや繰り返しの刺激で肌トラブルが起こりやすくなります。

私たち皮膚・排泄ケア認定看護師はそんなトラブルが起こりやすくなった肌を守るため、専門的なスキンケアを提供しています。ドライスキンやおむつかぶれのケアや、人工肛門・人工膀胱（ストーマ）ケア、床ずれ（褥瘡）や傷のケアに携わっています。また快適な排泄へ向けたケアにも取り組んでいます。お肌を守るため、入院・外来の様々な場面で活動しています。



平成29年度 初期臨床研修医の紹介

副院長（兼）臨床研修室長
吉永輝夫



今年度も早いものでスタートから3ヶ月が経ちました。当院には4月から新たに6名の初期臨床研修医（以下：研修医）が加わり、2年目研修医と合わせて10名が在籍しています。

当院は基幹型臨床研修病院として今年で10年目を迎え、これまで14名の研修終了者を輩出してきました。当院を巣立っていった元研修医達は主に県内各所で活躍し、地域医療に貢献しています。

当院では更なる研修の充実を図るため、昨年度より屋根瓦方式の当直（指導医と2年目研修医と1年目研修医がセットで当直に入る体制）を開始しました。2年目研修医は後輩の1年目研修医を指導することで更なる知識向上とスキルアップを

図り、1年目研修医は先輩の2年目研修医から直接学びながら日々成長しています。もちろん指導医も同時に診察をおこないますので、より専門的な指導ができます。

また、今年度より看護師などからの多面評価制度を導入予定です。多面評価制度は、技術的な面だけでなく、態度や行動などを他職種の視点から評価し、研修医の資質向上につなげていくことを目的としています。患者さんに寄り添うことや医療人としての振る舞いなどは、医師以外の指導からも成長できる部分が大きく、病院全体で研修医を育てていきたいと考えています。これからも研修医を積極的に迎え入れ、医師としての知識や技術はもちろんのこと、患者さんの立場に立った医療の提供や心遣いのできる医師を一人でも多く育てることにより、地域医療に貢献することが我々の目標です。



職場体験学習

— いつか一緒に働けたらいいですね —

当院では、社会貢献活動の一環として、職場体験で多くの中学生を受け入れています。5月22日から5日間で、高崎市立高南中学校の生徒さん4名が来院されました。全員「将来、医療に関わる仕事に就きたい」と希望しています。

まず、1日目にオリエンテーションと看護師による講義、2日目に病棟で看護部門と検査科の体験、3日目にOPE室とリハビリテーション室の体験、4日目に介護老人保健施設あずま荘と放射線科の体験、最終日に整形外科医師による講義と臨

床工学科の体験をしていただきました。

体験終了後のアンケートでは、「将来病院で働きたい」「たくさんの職種があつてとても勉強になった」などの感想をいただきました。医療職への思いを強く持っていただけたことは、職場体験が一過性のイベントではなく、具体的な将来の目標として考えられる意義のある体験になったのではないかと思います。

中学生らしく元気に、意欲的に取り組んでいた高南中学校の皆さん、何年か後に医療人となってお会いできる日を楽しみにしていますよ。

職場体験が中学生にとって、将来の夢の実現に向け歩む一歩となるよう、これからも応援していきます。



栄養科通信

～旬の食材メニューのお届け～



食欲増進!
夏野菜のお手軽ピクルス



★夏野菜は熱中症予防や日焼けした肌におススメなビタミン・ミネラルを多く含みます。また、お酢に含まれるクエン酸は体内の老廃物を排出するため、疲労回復効果が期待できます。

●材料(4人前)●

- ・夏野菜 …… 500g
- きゅうり(1本100g)、なす(1本80g)
- パプリカ(1個120g)、にんじん(1/2本80g)
- ミニトマト(8個120g)

〈ピクルス液〉

- ・米酢 200ml
- ・白ワイン 100ml
- ・水 75ml
- ・てんさい糖 40g
- ・食塩 小さじ1(6g)
- ・にんにく(スライス) 1片
- ・ローリエ 2枚
- ・粒こしょう 適量
- ・鷹の爪(種を除く) 1本

●作り方●

- ①野菜は食べやすい大きさに切り、ミニトマトは湯むきをし、にんじんはさつとゆでしておく。
- ②ステンレsgaホウロウの鍋にピクルス液の調味料を入れ火にかけ、調味料が溶けたら火を止め冷ましておく。
- ③保存容器(金属の蓋の使用は避ける)に材料とピクルス液を入れ、半日以上冷蔵庫で保存し味を浸み込ませ完成。

栄養価(1食 野菜70g分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	塩分
33kcal	0.6g	0g	0.3g

シリーズ
登録医紹介

当院は地域の先生方と協力して診療をおこなっています

あづまクリニック



院長 我妻 通明
住所 前橋市六供町566-1
電話 027-220-1220
診療科 内科一般、ペインクリニック



受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
午後 14:30~18:00	○	○	○	休	○	休	休

【休診日】木曜午後・土曜午後、日曜祝日

病院紹介 当院は、平成16年に開設してから現在まで「内科診療」「健診」「予防接種」といった経験や技術・実績をもって、様々な患者様への治療を行ってまいりました。その他にも、日々慢性的な痛みで苦しんでいる人に役立つ痛みの治療（ペインクリニック）といった様々な方法をもって、これからも皆様のお役に立てればと考えております。尚、当院は「在宅療養支援診療所」でございますので、往診やご自宅での療養も行っております。どうぞ遠慮なくお申し付けください。

家崎医院



院長 家崎 桂吾
住所 前橋市南町2-10-10
電話 027-221-7888
診療科 内科、胃腸内科（内視鏡）



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 15:30~18:00	○	○	休	○	○	休	休

【休診日】水・土曜午後、日曜祝日 ★初診の方は終了1時間前、再診の方は終了30分前までにお越しください。この時間を過ぎますとお受けできません。

病院紹介 近くに住む“かかりつけ医”として、長年内科医として診療にあたってきた経験を生かし、風邪やアレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患、生活習慣病である高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風などの治療を積極的に行い、健康管理や健康相談にも取り組みます。胃腸病に関しては、今までの専門性を生かして、「苦痛の少ない内視鏡検査」を行い、患者さんの満足する医療を提供したいと思っています。

八木医院



院長 八木 茂
住所 前橋市前箱田町15-1
電話 027-253-6588
診療科 内科、胃腸科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
午後 15:00~18:00	○	○	○	休	○	休	休

【休診日】水・土曜午後、日曜祝日

病院紹介 当院は、胃腸科・内科および小児科を専門としております。地域のかかりつけ医として、ご高齢の方から小児まで皆様の健康な生活を総合的にサポートいたします。どんな事でも遠慮せずにお気軽にご相談下さい。

外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【*：非常勤医師】

【午前】受付：午前8時30分~午前11時(診察開始：午前9時)・内科総合外来以外は予約制

【午後】完全予約制

平成29年7月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合 外来(初診)	9:00 10:30 12:00	福田	荻原	池田	佐倉	吉永	交替制
		加藤(幹)	月田	飯野	三島	中野	
血液内科	午前	星野			高田	初見	
	午後		佐倉・高田・初見 星野・石川	佐倉			
腎臓 リウマチ内科	午前	月田	田部井	三島			
	午後	前田			【CAPD外来】 月田(第2)・前田(第4)	三島 群大*(第1・3・5)	
内分泌・ 糖尿病内科	午前					荻原	荻原
	午後	荻原		青木*	荻原		
呼吸器内科	午前				久田*(第3休診)		岡山*
	午後			牧元*・岩崎*		岡山*(第2)	
消化器内科	午前		【胆・膵】樋口 【肝臓】畑中	【胆・膵】 吉永・吉田・樋口	【大腸】 蜂巢	【胆・膵】田中 【肝臓】齋藤	
	午後			【肝臓】 橋爪*(第1・3・5) 大山*(第2・4)	【肝臓】 畑中・齋藤 高木*(第1・3)		
循環器内科	午前	池田・直田 館野	中野・福田 戸島	中野・福田 戸島	中野・土屋 石窪	池田・土屋 【睡眠障害外来】福田(第5休診)	福田 池田
	午後	【禁煙外来】 池田		【ペースメーカー外来】池田 【心不全・動脈硬化外来】館野	【弁膜症・先天性 心疾患外来】館野	直田	
外科	午前	藍原・松村 本城	細内・和田	西田・松村	細内・須賀	細内・和田 木暮	交替制
	午後		【乳腺外来】鈴木	【ヘルニア外来】藍原	【食道外来】鈴木	【呼吸器外来】茂木*	
緩和ケア外来	午前					細内	
整形外科	午前	後藤 長谷川	中島・工藤 【脊椎】飯塚*(第3)	中島 金澤 神山	長谷川 工藤	後藤 金澤 神山	第1:中島・長谷川 【脊椎】井野* 第3:後藤・金澤・神山
	午後				【関節】白倉		
リハビリテーション科	午前						
心臓血管外科	午後	石山		石山			
小児科	午前					【循環器】鈴木(尊)*(第1・3・5)	
	午後					【循環器】鈴木(尊)*	
眼科	午前	萩原*	中村	中村・福地*	中村・岸*	中村	交替制*
泌尿器科	午前	鈴木(和)*					
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前		〈再診〉 吉田・中島	〈再診〉 吉田・中島		〈初診〉 吉田・中島	
緩和ケア内科 (完全予約制)	午後		平山		平山		

交通のご案内

- *新前橋駅よりタクシーで10分
- *前橋駅よりバスで20分/高崎駅よりバスで40分
- *前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。



上信バス時刻表案内

(済生会前橋病院発着予定時刻表) 平成28年4月1日現在

行先	前橋駅行	中央前橋駅行	高崎駅行
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16	32		10
17	05		08 40
18		01	34 18
19	09 59		25 45
20			06

印:土日祝日は運休 印:土日祝日のみ運行

お問い合わせ

☎027-252-6011(代)

紹介状をお持ちの方は、事前予約(内科総合外来以外)をお願い致します。地域連携課 TEL:027-252-1751(直通)

患者さんへ

- 前橋市成人健康診査のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
- 人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959 (直通)

介護関連

- 入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘
☎027-254-0108
- 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
地域包括支援ランチあずま荘
- 介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘
☎027-255-1511